

開講期	2026年度前期			単位数	2.0単位
科目[授業]名	5232 沖縄文化論 1			開講形態 (隔週 偶数 = 隔週2コマ)	週間授業
種別	人数制限(抽選)			定員	82
履修可能学年	全学年履修可	重複履修	○	全学開講	○
曜日時限	金曜3限				
教室	H403教室				
代表教員	津田 博幸				
担当教員	津田 博幸				
テーマと到達目標	現在の沖縄県と鹿児島県奄美地方は16世紀まで〈日本国〉の一部ではなく、琉球王国という別の国だった。この授業ではこの地域の文化を「沖縄文化」と呼ぶことにする。そこには独自の文化がかつてあり、かつ現在も部分的には残存している。この琉球王国の歴史と文化について、文献史料と現在の映像・音声記録などに基づき、理解することを目標とする。それは他者理解であるが、隣の国であった〈日本〉の理解にも資するであろう。				
概要	琉球王国時代の史料や王国時代の信仰を受け継ぐ現代の祭祀などによれば、沖縄の巫女たちは神の代理人であると同時に神そのものでもあった。その権力は強く、伝説では国王が巫女たちに拒否されて退位したこともあった。現代とはまったく異なるジェンダー・ロールが女性に割り当てられ、独特の社会が成り立っていたのである。このことは実は『魏志』「倭人伝」の卑弥呼や『千と千尋の神隠し』の千尋像とも通じていて、良くも悪くも人類の普遍性を持つ可能性がある。昨年度の「ジェンダー表象論」に引き続き、女性のジェンダー・ロールに注目しつつ文化横断的に考えてゆく。講義形式。なるべく楽しくやりたい。				
対面科目/オンライン科目	対面科目				
授業計画				担当教員(複数の教員が担当する場合のみ記載)	授業方式
第1回	琉球王国の歴史概説。				対面授業
第2回	琉球王国の王と巫女について概説。史料『女官御双子』概説。				対面授業
第3回	琉球王国の史料『女官御双子』に見る巫女組織。				対面授業
第4回	『女官御双子』に見る巫女たちの諸相。				対面授業
第5回	『女官御双子』に見る巫女の祭祀。				対面授業
第6回	最高巫女・聞得大君の就任式と「神の嫁」。				対面授業
第7回	宮古島のユタ(霊能者)の成巫過程。				対面授業
第8回	奄美大島のユタの成巫過程。				対面授業
第9回	琉球王国の神歌集『おもろさうし』概説。				対面授業
第10回	巫女と神歌(オモロ)と王の霊力「セヂ」。				対面授業
第11回	神歌に見る太陽信仰。				対面授業
第12回	神歌に見る「島が命」と〈日本〉の「国魂」。				対面授業
第13回	薩摩の侵略とニライカナイの神。				対面授業
第14回	木になった女——王国の離島支配と女性の過酷な現実。				対面授業
第15回	現代〈日本〉の巫女的キャラクター——『千と千尋の神隠し』など。				対面授業
成績評価の基準	全授業時数の3分の2以上の出席と課題提出を必須とする。毎回ポータルを通して課題(その日の講義内容に対する理解の確認、発展的考察・質問などを200字以上)を提出(欠席した回の課題提出は不可)。毎回の課題の評点の総計で評価する。				
履修にあたっての留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・「沖縄文化論2」(後期)と合わせて履修されることをお勧めする。 ・09回以降は昨年度の「ジェンダー表象論」の引き続きであるが、新規受講者にもわかりやすいよう解説するので安心されたい。 ・オンライン授業の併用は原則として行わないが、受講者に病気等のやむをえない事情がある場合はZoom中継の視聴および講義後のZoom録画の視聴を認める。希望者は講義開始の30分前までにポータルの「授業Q&A」で申し出ること。ただし、Zoomでは教室で視聴する映像資料の中継はできない。なるべく教室での出席をお勧めする。 				
オンライン授業方式(同時双方向型・オンデマンド型)の詳細					
【種別】人数制限(抽選)授業	T学科の低学年から順に優先				

の優先条件

◆教科書・教材

教科書以外に必要な教材費用	なし。		
教科書	プリントを配付。	教科書(ISBN)	
参考文献	授業中に適宜指示。	参考文献(ISBN)	

◆合理的配慮

本学における修学支援基本方針について	本学における修学支援基本方針は以下URLを確認してください https://www.wako.ac.jp/campuslife/barrier-free.html 合理的配慮を希望する場合は基本方針およびシラバスを熟読の上で申請すること		
--------------------	--	--	--